



湘南で活躍する一級建築士と丸山アーバンのコラボレーション企画第一弾

住まい手が自由に使える賃貸住宅「AKIBAKO」が竣工

～ライフスタイル提案型のコンセプト賃貸アパートとして投資用新築1棟アパートを開発～

ユーミーらいふグループの株式会社丸山アーバン（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役社長：西山和成）と、湘南で活躍する一級建築士、はやかわ建築計画（藤沢市本町、建築家：早川慶太）とのコラボレーション企画第一弾となる物件、住まい手が自由に使えるライフスタイル提案型コンセプト賃貸アパート新商品「AKIBAKO」シリーズとして、2024年11月に茅ヶ崎市中海岸に「maison de full 中海岸 A・B棟」が竣工いたしました。



※maison de full 中海岸 A・B棟 完成写真（2024/11/9撮影）

「AKIBAKO」 — 住まい手が自由に使える賃貸住宅

設計コンセプト

空き箱のように住まい手が自由に使える空間とすることで、自由度の高い自分らしい暮らしが表現でき、人生をクリエイティブにする賃貸住宅を計画しています。

配置計画

分棟・雁行配置することで、外観に変化をもたらし、圧迫感の低減と躍動感を表現しています。全ての住戸が南に面し、1階ルームとつながる専用庭を設けています。住棟間に敷地内通路を設け、専用庭を介して住人同士のゆるやかなコミュニティ醸成を生み出します。

外観デザイン

特徴的な雁行した外観は、小さな住戸が集まっているかのように感じられ、敷地内での街並みを創出しています。住戸毎に屋根がかかり、箱をずらすように配置することで、住まい手が自分だけの箱と感じられるようなプライベートを重視したデザインとしています。

住戸計画



1階は玄関を兼ねた大きな土間続きの部屋、2階をLDKとしたメゾネットタイプとし、住戸プランとしても戸建て感覚で暮らせることを意図しています。玄関を兼ねた大きな土間は、アウトドアアクティビティが住まいの中に入り込む余白です。土間と一体化した1階ルームは、趣味やワークスペースとしても活用できます。土間にかかるスケルトン階段は、2階からの光が降り注ぐ屋外のような空間を創出しています。2階は高い天井のキッチンとともに、自由に使える間仕切りのない空間とし、自分らしい暮らし方で彩るように、「何も足さない」洗練された設計としました。

色彩計画

外観の基調色として白と黒の2色を交互にしたAKIBAKOは、何にも染まらない「黒」、何にでも染まる「白」というコンセプトとし、住まい手の「こだわり」と「自由」を表現しています。これは、ユーマーライフグループが掲げる「湘南物語」のロゴに込めた想いに通じ、「黒」は、変わらない湘南の価値の普遍性を、「白」は、これからはじまる新しい暮らしであなた色に染まる“ひとりひとりの物語”を表します。

「湘南物語」のロゴが意味するもの <https://maruyama-urban.co.jp/blog/423/>

湘南の地で、自然に寄り添い、暮らしに寄り添う設計を



建築家：はやくわ建築計画 早川慶太 一級建築士

<http://hayakawa-archi.com/>

【竣工コメント】

AKIBAKO「空き箱」は僕が湘南で暮らし、アウトドアスポーツを楽しむ中で、こんな賃貸住戸があったらいいなと永らく構想していた住戸です。実際に完成した住戸はイメージ通りを超えてイメージ以上の仕上がりになりました。大きながらんだ空間の使い方は自由です。入居される方には是非この「空き箱」を自分らしい箱にカスタマイズして、湘南暮らしの拠点をづくり、楽しんでいただきたいと思います。

商品概要「AKIBAKO」



商品名：AKIBAKO（アキバコ）

構造：在来工法 木造2階建て（長屋形式）

対象地域：湘南エリア

住戸間取り：1LDK/全室メゾネット 専有面積 45.55㎡（標準）

企画・販売：株式会社丸山アーバン

※商品は予告なく変更となる場合がございます。

※AKIBAKO ロゴ

当社は、引き続き、湘南エリアにおける不動産事業を通じて、地域価値の向上に寄与するまちづくりに貢献して参ります。